

表紙絵による子どもと大人の絵本選択の差異

—異なる印象をもつ四種類の絵本を用いた調査を通して—

院教修 2 年 瀧野 揚子

1. 目的

絵本は時代のニーズに沿って、その要請を包含して変遷している。変容箇所は絵本の物語内容に限らず、絵や言葉の表現形態も含んでいる。古くから語り継がれてきた昔話やグリム、ペロウの童話などにおいては、物語の大筋となる部分は残しつつ残酷な場面や時代にそぐわない表現を省いたり、異なる表現へと変更したりすることは珍しくない。絵においては、数十年前に発行された絵本を物語内容はそのままに、その時代に流行している絵のスタイルで描き発行していることも数多く見受けられる。中澤ら（2005）や若山ら（2011）は挿絵について、同様の物語内容で異なる印象の挿絵を用いた絵本に着目している¹²。

絵本を選ぶ上で、判断する要素として表紙を眺めて「この絵本を読みたい」と思う、自身の感性に触れる絵本との出会いがそこにはある。保育現場や図書館など絵本を展示する場所では、おすすめの絵本や読んでほしい絵本の表紙が見えるように置くという工夫がされていることから、絵本の表紙は重要な役割を担っていることは明らかである。特に識字能力が十分でない子どもにとって、視覚情報として絵本の表紙は大人以上に重要な選択の材料となるに違いない。そこで、本研究においては視覚的な情報としての絵の違いが絵本選択に影響を及ぼすか、さらに、子どもと大人では好みに差異が生じるかについて明確にすることを目的とする。

2. 方法：表紙の印象が異なる四種類の『シンデレラ』を取り上げた。絵本①は「平田昭吾（文）、羽根章悦（絵）、ポプラ社」、絵本②は「梯子有子（文）、上北ふたご（絵）、河出書房新社」、絵本③は「バーバラ・マクリントック（再話、絵）、福本友美子（訳）、岩波書店」、絵本④「グリム兄弟（作）、サラ・ギブ（絵）、角野英子（訳）、文化出版局」であった。第1調査では、『シンデレラ』絵本四種の表紙に対して大学生を対象にSD法を用いてイメージを評定させるため、アンケート調査をおこなった。因子分析の結果、5因子が抽出された。第2調査では、5歳児30名とその保護者（代表者一名）25名を対象に一対比較法を用いて絵本の表紙に関する好悪の違いを測定した。



図 1 絵本①

¹ 中澤潤・中道圭人・大澤紀代子・針谷洋美「絵本の絵が幼児の物語理解・想像力に及ぼす影響」, 千葉大学教育学部研究紀要(53),2005,pp.193-202.

² 若山育代・表裕未「絵本の挿絵が4歳児の共感性に及ぼす影響—印象の異なる2種類の絵本を用いた読みきかせによる検討」,富山大学人間発達科学部紀要 6(1),2011,pp.91-97.



図 2 絵本②

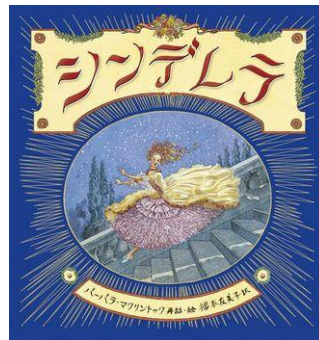


図 3 絵本③



図 4 絵本④

3. 結果と考察：以下の点が明らかになった。

i 子どもが読みたい絵本については、絵本②、絵本④を選択する傾向にあり、次いで絵本①、絵本③の順となっている。ii 「大人が読みたい」絵本については、絵本④を選択する傾向にあり、絵本①、絵本③、絵本②の順となっている。iii 「子どもが選びそう」な絵本については、絵本②、絵本①を選択する傾向にあり、次いで絵本④、絵本③の順となっている。iv 「子どもに読ませたい」絵本については、絵本④を選択する傾向にあり、絵本①、絵本②、絵本③の順となっている。v 子どもが読みたい絵本と「子どもに読んでほしい」絵本を親子間で比較すると、特に絵本②について一致しない傾向がある。

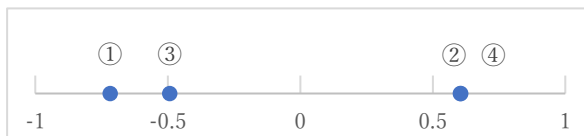


図 5 子どもが読みたい絵本の尺度値

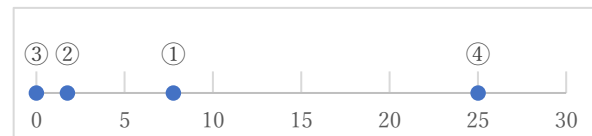


図 6 「子どもに読んでほしい」絵本の尺度値

子どもが絵本を選択する上で、大人(保護者など)が介入する機会が多い。絵本を購入する場合には、子どもが手に取った絵本を見て、大人が子どもの意見(意思や欲求)を曲げてしまうことも十分に考えられる。もちろん、大人が子どもの発達を考慮し、絵本を選定し、「いい絵本」を与えたいという大人の意図もあるだろう。しかし、大人の過剰な干渉はかえって子どもの絵本への関心の妨害につながると推察する。大人の一方的な価値観を押し付けることなく、子どもの関心にも沿った絵本選択について考える必要がある。

子どもが「読みたい」と思いまず目に入るのは表紙である。表紙の絵に対する視覚的な選好、そしてその選好における大人との差異を検討したという点で本研究は今後の研究にとって有益なものであったと思われる。

4. 課題と展望：子どもにも馴染みのある絵本として『シンデレラ』を題材とした。しかし、何人かの(特に)男児にとってはあまり親しみがあるものではなかったように印象があった。そのため、より男女ともに受け入れられる絵本題材を採用することを検討していく必要がある。本調査において回答が無効となってしまった子どもの姿にこそ今後は着目していきたい。

指導教員 西本望